

編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中本, 順子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028647

編集後記

本報告書は、令和3年12月23日(木)に開催された第27回技術報告会の内容をまとめたものとなります。今回の技術報告会は、本来ならば静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館会議室に、参加者全員が集まって交流を深める機会となっていたはずでした。しかしながら、コロナ禍の影響は依然として収まる気配がなく、9月12日に「新型コロナウイルス感染症における静岡大学活動指針」がレベル3から更に厳しいレベル3+に引き上げられ、以降10月15日にレベル2に引き下げられるまでその厳しい状況が続きました。レベルの引き上げに伴い学内移動も困難な事態となり、開催方法を決定する時期と重なったことから、今年はオンライン方式を取り入れつつ浜松と静岡のそれぞれのキャンパスでのみ対面で開催することにしました。昨年度に経験済みのオンラインやオンデマンド方式で行うということも考えられましたが、今年こそは少しでも従来の対面方式に近づけたいとの思いがあり、今回のハイブリッド方式にチャレンジすることになりました。3密対策などにより会場となる教室や会議室の使用制限がある中で、企画委員をはじめとした多くの方々からご支援をいただきながら準備を進め、開催の日を迎えることができました。

今回の報告会は、学内から56名、学外からは浜松医科大学、三重大学、国立遺伝学研究所、名古屋大学、名古屋工業大学、自然科学研究機構生理学研究所の6つの機関より18名の参加があり、合計74名の参加となりました。発表は学外から2件のオンライン発表を含めて全部で13件あり、質疑応答の時間が足りなくなるほどの盛会裏に終わりました。今年も残念ながら情報交換会を行うことはできませんでしたが、来年こそは密な情報交換ができるように願っております。

本書巻頭言には本学の学長及び理事(技術部長)より賜った挨拶を掲載いたしました。その他本書には、今年度本学技術部職員が参加した東海・北陸地区国立大学法人等合同研修の報告、日本学術振興会科学研究費助成事業(奨励研究)に採択された研究内容を併載しました。ご多用の中、原稿をお寄せいただき誠にありがとうございました。

最後に、報告会の運営等にご協力いただきました企画委員、広報委員、そして、素晴らしい成果をご報告してくださった発表者の皆さまをはじめ、すべての参加者の方々に心より感謝申し上げます。

令和4年3月 吉日
第27回静岡大学技術報告会 実行委員長 中本順子